

## 地球温暖化対策実施状況報告書

令和 2 年 9 月 30 日

香川県知事 殿

## 報告者

住所 高松市郷東町字新開587番地1

氏名 日本赤十字社

香川県赤十字血液センター

所長 本田 豊彦 印

香川県生活環境の保全に関する条例第94条第5項の規定により、地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況について、次のとおり報告します。

事業者の主たる業種	55 その他の卸売業
事業者の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第1号に該当する事業者 <input type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第2号に該当する事業者
事業の概要	採血業及び医薬品販売業
事業所の名称及び所在地	別紙1のとおり
地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況	様式2のとおり
実施状況の公表予定年月日	令和 2 年 10 月 1 日
実施状況の公表の方法	事業所に備えて一般の閲覧に供する。 公表場所：香川県赤十字血液センター
連絡先	担当部署 総務課 担当者 蓮井 彬 電話番号 087-881-1500 FAX番号 087-882-8163 電子メールアドレス a-hasui@kagawa.bc.jrc.or.jp

- 備考 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とすること。  
2 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。

## 事業所の名称及び所在地

No.	名称	所在地	種類
①	第一種エネルギー管理指定工場等及び第二種エネルギー管理指定工場等		
1			
2			
3			
4			
5			
6			
②	その他の事業所		
7	香川県赤十字血液センター	高松市郷東町字新開587番地1	
8	香川県赤十字血液センター丸亀町出張所	高松市丸亀町13-3	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52			
53			
54			
55			

## 地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		令和 元 年度					
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		香川県赤十字血液センターに電力デマンド監視サービスを導入					
温室効果ガスの吸収等	温室効果ガスの吸収等	区 分			実施年度 (令和 元 年度)		
					二酸化炭素換算 (t)		
		<input type="checkbox"/> 森林の整備等			t-CO <sub>2</sub>		
		<input type="checkbox"/> 経済的手法の活用			t-CO <sub>2</sub>		
		グリーン電力証書の購入			t-CO <sub>2</sub>		
		グリーン熱証書の購入			t-CO <sub>2</sub>		
		オフセット・クレジットの購入			t-CO <sub>2</sub>		
		国内クレジットの購入			t-CO <sub>2</sub>		
	J-クレジットの購入			t-CO <sub>2</sub>			
	合 計			① t-CO <sub>2</sub>			
温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	温室効果ガスの排出の抑制	区 分	基準年度 (平成 28 年度)	目標年度 (令和 元 年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (令和 元 年度)	対基準 年度比 (%)
		温室効果ガス 排出量	(二酸化炭素換算 (t))② 358 t-CO <sub>2</sub>	(二酸化炭素換算 (t)) 465 t-CO <sub>2</sub>	129.9	(二酸化炭素換算 (t))③ 293 t-CO <sub>2</sub>	81.8
		<input checked="" type="checkbox"/> 差引排出量 A	(二酸化炭素換算 (t))② 358 t-CO <sub>2</sub>	(二酸化炭素換算 (t)) 465 t-CO <sub>2</sub>	129.9	(二酸化炭素換算 (t))③-① 293 t-CO <sub>2</sub>	81.8
		<input type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B					
		温室効果ガス排 出量と密接な関 係を持つ値 B					
排出量等の 増減理由	香川県赤十字血液センターに電力デマンド監視サービスを導入						
特記事項							

(注)

1 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記載した数値を転記すること。

2 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算(t)」欄に値を記入すること。

3 「増減理由」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加・減少した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できた・達成できなかった理由を含む。）を記入すること。

4 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記載したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。

【別表2】

(令和元年度)

香川県赤十字血液センター

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C			
燃料	原油 (コンデンセートを除く)		kl			kl				
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kl			kl				
	揮発油 (ガソリン)		kl			kl				
	ナフサ		kl			kl				
	灯油		kl			kl				
	軽油		kl			kl				
	A重油		kl			kl				
	B・C重油		kl			kl				
	石油アスファルト		t			t				
	石油コークス		t			t				
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t			t			
		石油系炭化水素ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t			
		その他可燃性天然ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>			
	石炭	原料炭		t			t			
		一般炭		t			t			
		無煙炭		t			t			
	石炭コークス		t			t				
	コールタール		t			t				
	コークス炉ガス			千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>			
高炉ガス			千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>				
転炉ガス			千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>				
都市ガス		0.036	千m <sup>3</sup>	2		千m <sup>3</sup>	2	0.1		
その他の燃料										
小計 ①									0.1	
熱	産業用蒸気		GJ			GJ				
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ				
	温水		GJ			GJ				
	冷水		GJ			GJ				
小計 ②										
エネルギーの種類		数値 D	単位		数値 F	単位		H=D-F (千kWh)	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
電気	一般送配電事業者が維持し、及び運用する電線路を介して供給された電気	昼間買電	318.056	千kWh		千kWh		318	159.0	
		夜間買電		千kWh		千kWh				
	その他	上記以外の買電		千kWh		千kWh				
		自家発電		千kWh		千kWh				
小計 ③									159.0	
合計 (t-CO <sub>2</sub> ) ④=①+②+③									159.1	

電気事業者・排出係数(t-CO<sub>2</sub>/kWh)： 四国電力 0.0005

【別表2】

(令和元年度)

香川県赤十字血液センター丸亀町出張所

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C		
燃料	原油 (コンデンセートを除く)		kl			kl			
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kl			kl			
	揮発油 (ガソリン)		kl			kl			
	ナフサ		kl			kl			
	灯油		kl			kl			
	軽油		kl			kl			
	A重油		kl			kl			
	B・C重油		kl			kl			
	石油アスファルト		t			t			
	石油コークス		t			t			
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t			t		
		石油系炭化水素ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t		
		その他可燃性天然ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>		
	石炭	原料炭		t			t		
		一般炭		t			t		
		無煙炭		t			t		
	石炭コークス		t			t			
	コールタール		t			t			
	コークス炉ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>			
高炉ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>				
転炉ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>				
都市ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>				
その他の燃料									
小計 ①									
熱	産業用蒸気		GJ			GJ			
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ			
	温水		GJ			GJ			
	冷水		GJ			GJ			
小計 ②									
エネルギーの種類		数値 D	単位		数値 F	単位	H=D-F (千kWh)	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
電気	一般送配電事業者が維持し、及び運用する電線路を介して供給された電気	昼間買電	118.534	千kWh		千kWh	119	59.3	
		夜間買電		千kWh		千kWh			
	その他	上記以外の買電		千kWh		千kWh			
		自家発電		千kWh		千kWh			
小計 ③									
合計 (t-CO <sub>2</sub> ) ④=①+②+③								59.3	

電気事業者・排出係数(t-CO<sub>2</sub>/kWh)： 四国電力 0.0005

【別表5】

(令和元年度)

日本赤十字社

事業所名	自動車 エネルギー使用量・台数											
	ガソリン (kl)		軽油 (kl)		LPG (t)		都市ガス(CNG) (千m <sup>3</sup> )		その他			
	台数(台)		台数(台)		台数(台)		台数(台)		台数(台)			
	総台数	軽自動車除く	総台数	軽自動車除く	総台数	軽自動車除く	総台数	軽自動車除く	総台数	軽自動車除く		
香川県赤十字血液センター	20.735	11	10	10.411	6	6						
合計	20.74	11	10	10.41	6	6						

エネルギーの種類	エネルギー使用量			単位発熱量		二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
	数値 A	単位	熱量 (GJ) B=A×C	数値 C	単位	
ガソリン	20.74	kl	717.43	34.6	GJ/Kl	48.14
軽油	10.41	kl	392.49	37.7	GJ/Kl	26.91
LPG		t		50.8	GJ/t	
都市ガス(CNG)		千m <sup>3</sup>		46.0	GJ/千m <sup>3</sup>	
合計						75.05

※ LPGの液体密度は、一般に0.50~0.60kg/lですが、デフォルト値として0.56kg/lを用いても構いません。

(数値把握の方法)

- 燃料法 (直接、燃料使用量を把握する方法) によるもの
- 燃費法 (車両の燃費と走行距離により燃料使用量を把握する方法) によるもの
- その他の方法 ( )

集計表

区分	令和元年度 (t-CO <sub>2</sub> )
エネルギー起源二酸化炭素の排出量 (別表2)	218
自動車の使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量 (別表5)	75
エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出量	
***	
***	
***	
***	
***	
***	
***	
合計	293